

3. [医療と保健の融合による健康づくり拠点の整備について]

吉田町会場

Q5：医療と保健の融合施設建設について、当会場の参加者の8割が反対だ。ケアポートよしだには運営上の対応余力もある。年間6～7千万円もかけてやるものではない。ケアポートの利活用を考えてほしい。

A：既存施設は、歩くプールのみだが、様々な機能を加え、指導者の配置により効果を上げる。年間6～7千万円をかけるほどのことではないとのことだが、利用料を引くと年間5千万円程度の支出になる。高齢者の体力作りの施設として整備したいと考えている。(健康福祉部長)

A：医療と保健の融合による健康づくり拠点について、反対される方も多く、議会からもご意見やご懸念をいただいている。「医療と保健の融合」という大きなイメージになったが、加茂のプールが老朽化したので、改修して通年的な利用ができないかという発想。多くの皆さんが使える施設であり、ウォーキング・スイミング・リラクゼーションができる環境に加え、指導員が効果的な支援をする。ケアポートが示してきた原点を拡充していく発想だ。かもてらすに隣接することで建設経費を縮減し、ケアポート等の施設を有機的に結び付けて活用していく。そうした理念について共有ができたうえでコスト等について検討していただきたい。(副市長)

Q6：今後、ケアポートがなくなるようなことはありませんよね。

A：ケアポートの件は、新施設と有機的な結びつきの中で保っていく。市がケアポートへ委託している高齢者や後期高齢者の水中運動の教室は、希望者でいっぱい状況であり、ケアポートで学んだことを市内の各施設で日常的に取り組んでいくような環境をつくりたい。(健康福祉部長)